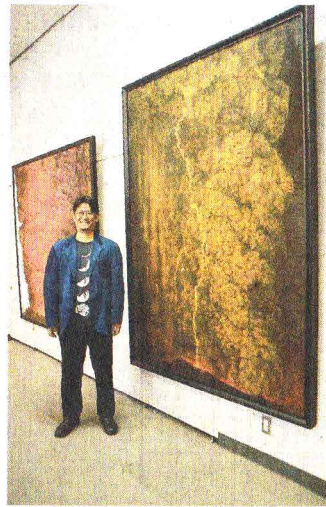


個展会場で阿蘇の噴火を描いた作品を披露する日本
画家の中村賢次さん〓熊本市中央区



文化圏

◇中村賢次展 熊本

市中央区の崇城大ギャラリーで1日、始まった。30日まで。同大芸術学部の教員による展覧会の最終回。学部長を務める日本画家の中村賢次教授(54)〓同市〓が近作を中心に約80点を並べる。目を引くのは、一昨年と昨年に噴火した阿蘇中岳をそ

れぞれ描いた2点。いずれも現地でスケッチしており、空が見えないほどに広がった噴煙の描写に迫力がある。

「感じたのは恐怖。熊本地震と一連の出来事として刻みたかった」と中村さん。会期中、地震で解体された襖ふすま表具材料店から譲り受けた和紙で縦1・8㍎、横7㍎の大作を公開制作する。5〓31日、同区の不言亭で別の個展を開く。